

第1回 “ASDを知る”から“理解する”へ 行動ではなく、情報を整える

ASD特性について、ものごとの捉え方や感じ方の違いという視点から整理します。支援では「何をするか」だけでなく、「なぜ、その支援が必要か」という視点が欠かせません。また、知識と理解は似ているようで違います。本講義では、「理解するとはどういうことか?」という点についても一緒に整理します。



佐々木 康栄氏

よこはま発達グループCSO
TEACCHプログラム研究会東北支部代表
VILD Autism Japan 共同代表

成人期の知的障害や自閉症の方々の生活支援（グループホーム）や療育センターでの勤務を経て、医療・療育・相談・啓発活動などに従事。その他、人材育成のための講演や研修、北海道～九州まで全国の障害福祉機関や保育園/幼稚園へのコンサルテーションも担っている。

第2回 幸せな大人を目指して～たくさんのドヤ顔に出会いたい～ 子ども時代の支援の中で必要な“成功体験”って何だろう？ そんなことを一緒に考えてみませんか？

成功体験が大事とよく聞くけれど、それってなんだろう？と考えてみたことありますか？今回は一歩下がって眺めてみる機会を作ってみたいと思っています。自閉症の子どもたちから学んだたくさんのことを、私なりにまとめ、子ども時代の支援に必要な視点や発想をみなさんに提案できたらいいなと思っています。

特定非営利活動法人ライフサポートここはうす理事長
できるだけ前向きな当事者会会員

幼児通園施設ひよこ園着任中、担当クラスの親御さんたちと勉強会を続け、「今必要な支援を作ろう！」と2003年ライフサポートここはうすを立ち上げ現在に至る。2010年より今治・ラジオバリにて自閉症について発信するレギュラー番組を担当。



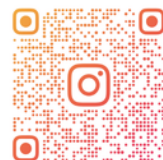
桑原 綾子氏



NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ

NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽは「自閉スペクトラム症児・者が、必要な時に適切な援助を受け、普通に地域で生き活きと暮らせる滋賀」を目指して1996年より活動しています。生活介護事業所「さくら工房」の運営や、自閉スペクトラム症に関する理解啓発活動に取り組んでいます。

Instagram



@SAKURA_66SAKURA